

ガラス細工実験講習会（理数研究現地研修）報告

2023年8月17日(木)に国立高校化学実験室においてガラス細工実験講習会を行いました。講師は、昨年に引き続き溝口克彦先生にお願いしました。当日は、溝口先生がお作りになったガラス細工用特製ガスバーナーで、生徒自身がガラス細工を行いながら、細工の基本を教わりました。

講習内容は、ガラス細工の準備と基本操作（ガラスの切り方、ガラス管の持ち方とガラスの回転、ガラスの熱し方と膨らまし方）、浮沈子の作成（末端球の作成、ガラス管の切断と処理、浮沈子の色付け）でした。

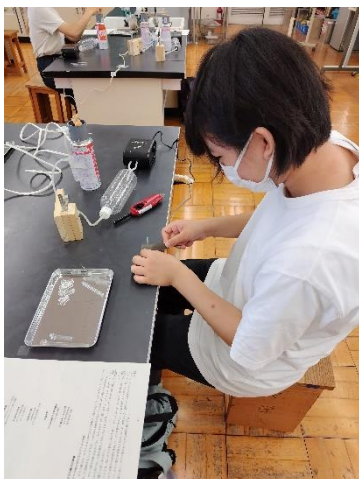
参加人数は、午前が9名、午後が7名でした。

今年卒業したOG2名が前日の準備から参加してくれ、当日は後輩へアドバイスをしながらガラス細工を一緒に楽しみました。

最終的には全員がきれいな浮沈子を作成し、作成品などは各自で持ち帰りました。

生徒の感想

- ・ とても楽しかったです！ガラス細工自体が初めてだったのですが、先生方にも色々手伝ってもらいながら、友達と楽しく参加することが出来ました。今後も、このような講習の機会があったらぜひ参加してみたいと思います。
- ・ 最初は手こずったが、慣れてくると上手くいじれるようになった。末端球の作成では、二連にしてみたり、色をつけたり色々試せて楽しかった。
- ・ ガラスがとけて自在に形状を変えられることは知っていたけれど、普段の硬いガラスからは想像がつかなかったもので、今回それを実感できていい経験になったと思う。
- ・ ガラス管を切ったり熱して膨らましたりするの初めてで面白かったです。ガラス管を膨らますときは初めは肉がつきすぎて大変でしたが先生やOGの方が助けてくださり、膨らませられて嬉しかったです。あまり上手にはできななかったのですがものづくりの楽しさを感じられました。ありがとうございました。
- ・ 舐めてましたが意外に難しかったです。上手くいったと思っても調子に乗って息を吹き過ぎると穴が空いて悲しかったです。



ガラス細工をする生徒1



ガラス細工をする生徒2



ガラス細工をする生徒3